

はじめに

私たちが住む指宿市は、東シナ海と錦江湾に面しており、薩摩富士ともいわれる秀麗な開聞岳や、干潮時には砂の道が出現する知林ヶ島など、全国に誇れる素晴らしい自然を有しています。

また、市の中央部には九州最大の湖である池田湖や九州で2番目に大きい鰻池のほか、市内には多くの河川があります。これらは、私たちの貴重な財産であり、美しい自然環境に囲まれた快適な生活は私たちの願いです。

しかし、生活が豊になるにつれて、私たちの周りの川や海は徐々に汚くなっていきました。

下水道整備が進んでいなかった40年前の日本は、家庭からの生活排水などにより各地で水が汚れ、川や海から生き物が姿を消してしまいました。その後、急速に下水道が整備されたことにより、川や海的环境が改善され、ふたたび生き物が生息できるようになりました。

指宿市では、美しく豊かな自然を私たちの世代だけでなく次代を担う子どもたちに引き継いでいくために、昭和61年3月から公共下水道の供用を開始し、年度ごとに整備を進めています。

公共下水道が整備されると、皆様のご家庭の台所、洗濯、風呂場等からの排水や水洗トイレの汚水も直接下水道に流すことができるようになります。これにより、汚水を速やかに排除することができるため、悪臭やハエ・蚊などの発生を防ぎ快適な生活を送ることができます。

家庭や事業所などから排出された汚水は、下水道を通過して終末処理場である指宿市浄水苑に運ばれ、さまざまな工程を経てきれいな水となって放流されるため、海や河川を汚すこともありません。

しかし、下水道が整備されても皆さんに利用していただかなければ全く価値のないものになってしまいます。生活環境をより快適にし、将来世代に豊かな自然環境・資源を引き継いでいくため、下水道事業へのご理解とご協力をお願いします。